

本成果報告会は、2011年の東京電力福島第一原子力発電所の事故後の2013年に設立された福島大学環境放射能研究所の研究成果について、学外（地域の方々や放射能研究の専門家等）へ向けて報告し、参加者との意見交換を通して研究成果が地域還元され、今後の研究発展につながるよう開催するものです。

今回の市民向けシンポジウムではこれまでの研究成果の報告に加え、原発事故後 11 年が経過した福島での新たな課題も掘り下げます。復興を目指す人間活動と環境放射能の間で生じている前線『フロンティア』について紹介します。

## 2/13 月 専門家向け口頭・ポスター発表

※放射能環境動態影響評価ネットワーク共同研究拠点 (ERAN) 年次報告会との合同開催  
※一般参加不可

## 2/14 火 市民向けシンポジウム 言語:日本語または英語 同時通訳あり

時間	内容	登壇者	所属・役職
13:00-13:05	開会挨拶	三浦 浩喜 MIURA Hiroki	福島大学 学長 President, Fukushima University
13:05-13:15	趣旨説明	難波 謙二 NANBA Kenji	福島大学 環境放射能研究所 所長/ 福島大学 共生システム理工学類 教授 Director, IER/ Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
13:15-13:45	「新しい概念に基づく放射線分布可視化ツールの開発」	鳥居 建男 TORII Tatsuo	福島大学 環境放射能研究所 特任教授 Project Professor, IER
13:45-14:15	「陸域の放射性Cs循環のこれまでとこれから」	五十嵐 康記 IGARASHI Yasunori	福島大学 環境放射能研究所 特任講師 Project Senior Assistant Professor, IER
14:15-14:45	「海洋のトリチウム環境動態解明に向けた新たなフロンティア」	高田 兵衛 TAKATA Hyoe	福島大学 環境放射能研究所 特任准教授 Project Associate Professor, IER
14:45-14:55	休憩 Break		
14:55-15:25	「福島県の漁業復興の最前線と課題」	和田 敏裕 WADA Toshihiro	福島大学 環境放射能研究所 准教授 Associate Professor, IER
15:25-15:55	「福島復興に資する放射線リスク認知研究の展開」	高村 昇 TAKAMURA Noboru	福島大学 環境放射能研究所 副所長/ 長崎大学 教授 Vice Director, IER/ Professor, Nagasaki University
15:55-16:25	「福島事故後の放射生態学: 教訓と未来への課題」	アレクセイ・コノプリョフ Alexei KONOPLEV	福島大学 環境放射能研究所 副所長/ 特任教授 Vice Director/Project Professor, IER
16:25-16:55	総合討論		
16:55-17:00	閉会挨拶	高村 昇 TAKAMURA Noboru	福島大学 環境放射能研究所 副所長/ 長崎大学 教授 Vice Director, IER/ Professor, Nagasaki University

事前参加登録は特設サイトから  
お願いします。

<https://www.ier-f.com>

IER 成果報告会

検索



インターネット環境がない方は  
TEL または FAX で右記について  
お知らせください。

・氏名（フリガナ） ・所属先またはお住まいの市町村  
・電話番号 ・参加方法：現地参加またはオンライン

提供いただいた個人情報は、国立大学法人福島大学個人情報保護規制に従い、適切に管理・利用いたします。

お問い合わせ

福島大学環境放射能研究所

TEL 024-504-2114 FAX 024-503-2921

E-mail [ier@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:ier@adb.fukushima-u.ac.jp)



会場

コラッセふくしま

4 階多目的ホール  
福島県福島市三河南町 1 番 20 号  
(福島駅西口 徒歩 3 分)

